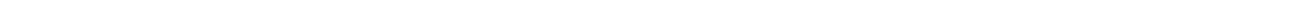

MPS-X Streaming & Digital Interface

取扱説明書

PLAYBACK
DESIGNS



この度は Playback Designs Streamer MPS-X をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本説明書をよくお読みになり、設置や操作方法を充分にご理解の上、正しくご使用ください。
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

はじめに

箱から商品を取り出して、中身をご確認ください。

万一不足や損傷がありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

1) Streamer MPS-X 本体	x 1
2) 電源ケーブル	x 1
3) PLINK Optical ケーブル	x 1
4) 2P/3P 変換プラグ	x 1
5) USB2.0 ケーブル (A-type/B-type)	x 1
6) 取扱説明書 (本紙)	x 1
7) 保証書	x 1

MPS-X と PLINK インターフェースのコンセプト

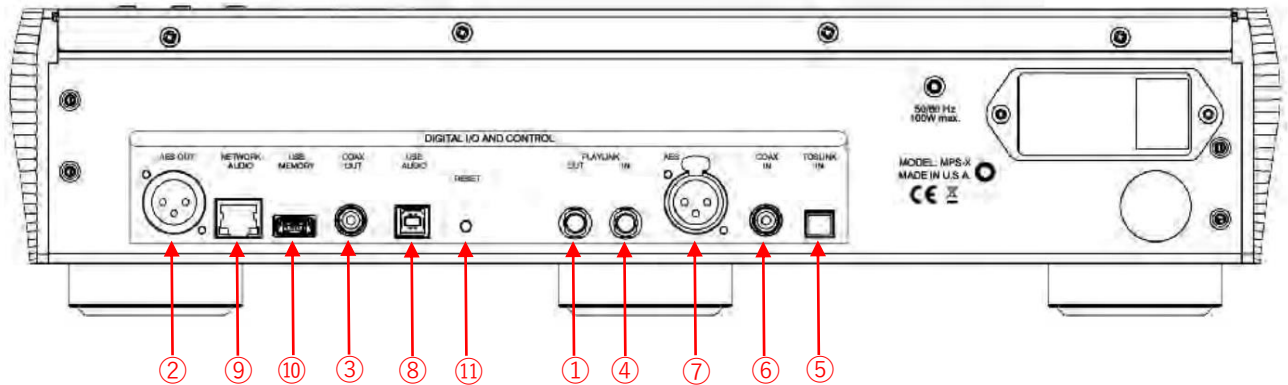
MPS-X はインターネット、ネットワーク接続ストレージ (NAS)、USB ソース (コンピューター、サーバーなど)、その他のデジタル入力からのストリーミング接続を提供します。

MPS-X は、Playback Designs 独自のクロッキングとバッファリング・システムにより、入力されるあらゆるジッターを除去し、全ての音楽データをネイティブにエンコードします。

標準的な COAXIAL / AES 出力 (PCM と DSD は DoP のみ)、または Playback Designs 独自の PLINK 出力に全てのデータをネイティブにエンコードします。PLINK はほとんどの Playback Designs 機器で使用されている高品質な光ファイバーリンクで、PCM と DSD の全フォーマットをネイティブにサポートしています。

各部説明

リアパネル



デジタル 出力: ① PLINK OUT: Playback Designs 独自ファイバー端子。
多様なオーディオフォーマットに対応。PCM/DSD 対応。

② AES OUT:

③ COAX OUT:

デジタル 入力: ④ PLINK IN: Playback Designs 専用高性能光ファイバー端子。PCM/DSD 対応。

⑤ TOSLINK: 24bits/192kHz まで対応。光コネクタ使用時、最大 96 kHz まで対応。

⑥ COAX: 24bits/192kHz まで対応。RCA コネクタ使用時、SPDIF フォーマット対応。

⑦ AES: AES/EBU フォーマット・ステレオリニア PCM データ専用 XLR コネクタ
24bits/192kHz まで対応。シングル DoP 方式に対応。

⑧ USB AUDIO: 本機とパソコンを USB で接続。PCM384kHz、DSD11.2MHz まで対応。

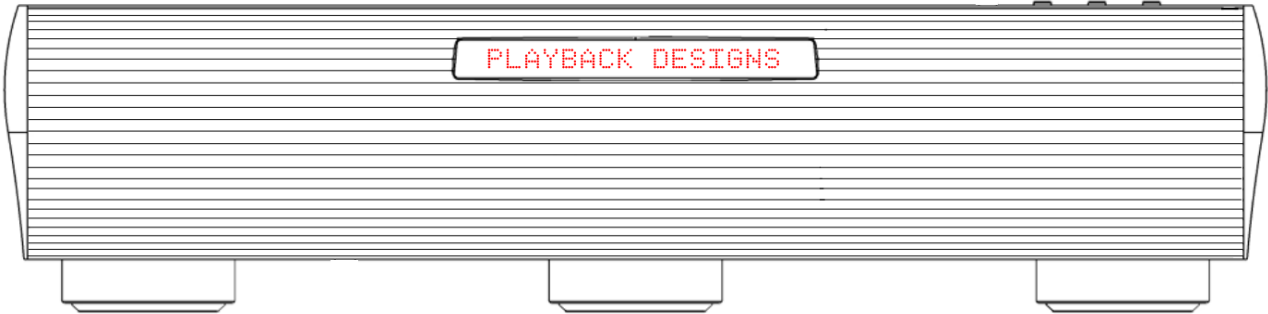
ネットワーク: ⑨ NETWORK AUDIO: STREAM 用 LAN 端子。

⑩ USB MEMORY: USB-A 端子

システムコントロール: ⑪ RESET: ソフトウェアのアップグレード時にご使用ください。通常の操作時に
RESET ボタンを押すと、DAC の設定が初期化されます

【ご注意】 必ずスタンバイ状態に切り替えてから、リアパネルにある電源スイッチを切ってください。

フロントパネル機能



ボタン ▼ ▲ ボリュームコントロールボタン
 ⏻ スタンバイ・モード on/off

MPS-X を Windows、Mac、または Linux ベースの PC に接続

解像度 PCM：最大 384kHz までの全サンプル・レート、最大 24 ビットまで。

DSD：ネイティブは 11.2MHz まで、DoP は 5.6MHz まで。

接続プロトコルと方式：USB 2.0 / Audio class 2.0 準拠、MPS-X が高精度クロック・マスターを生成し、コンピューターがクロック・スレーブされるアシンクロナスモード

PC 対応 OS Windows：Windows7 以降、JRiver などの ASIO 対応プレーヤーソフト
 Mac：OS X (10.6.6 以降)

Linux 対応コンピューター：カーネル統合 USB ドライバ (ALSA を除く) を搭載した Linux バージョン。お使いのコンピューターと MPS-X が通信し、オーディオデータを交換するためには、MPS-X と接続する前にカスタムドライバーのソフトウェアをインストールする必要があります。ソフトウェアをインストールする必要があります。

お使いのコンピューターが OSX 10.6.6 以降、または Linux コンピュータを使用している場合は、ドライバソフトウェアは必要ありません。DSD ファイル再生 Mac では DoP 規格で、Linux コンピューターでは DSD4x までネイティブでサポートされています。

ドライバーは MPS-X でオーディオを再生するには、すべての Windows ベースの PC にドライバをインストールする必要があります。

ドライバソフトウェアのインストールと Windows コンピューターへの初回接続

1. 弊社ウェブサイトのサポートセクションから最新の USB ドライバをダウンロードします：
www.playbackdesigns.com
2. インストーラーをダブルクリックし、画面の指示に従ってください。
3. MPS-X の電源を入れ、USB ケーブルを MPS-X の USB 端子とコンピューターの間に接続します。
4. MPS-X の USB 入力を選択します。
5. コンピューターが USB バス上の MPS-X を列挙し、正常にインストールされたことを通知します。

ドライバのインストールと接続が成功したことは、デバイスマネージャーで確認することができます。AKDesign USB Audio と表示されます。サウンドコントロールパネルには表示されません。

6. オーディオデータを ASIO インターフェイスに送信するよう、プレーヤーソフトウェアを設定します。ご使用のプレーヤーソフトウェアによっては、AKDesign USB ASIO "または単に "ASIO "と表示されません。プレーヤーによっては、ASIO 互換の再生にプラグインが必要な場合があります。
7. 最高のパフォーマンスと完璧なビット再現のために、コンピュータの再生ソフトのボリュームコントロールをすべて 0db (ワイドオープン) に設定してください。また、再生ソフトで作動しているエフェクトやイコライザーはすべてオフにしてください。ボリュームはアナログ・プリアンプのみでコントロールしてください。

アップルまたはリナックスのコンピュータに接続：

ドライバーをインストールする必要はありません。Mac で DSD ファイルを再生する場合は、再生ソフトウェアが DoP 経由で MPS-X に送信することを確認してください。Linux は DoP なしでネイティブに DSD 再生をサポートします。

Windows PC での再生時

パソコン上のプレーヤー・ソフトウェアから曲を変更する場合、USB プロトコルが必要なサンプル・レートの変更を自動的に MPS-X に伝えます。MPS-X のフロントパネルのフロント・パネルは、ファイル再生中に常にサンプル・レートを表示します。このシステムは、サンプルレートの変換や信号処理を一切行いません。本システムは、サンプルレートの変換や、サウンド・パフォーマンスに悪影響を与えるような信号処理は一切行わず、むしろファイルから正確なビットを使用します。

Mac PC での再生時

OSX のネイティブ OS と iTunes は、サンプルレート変換にこだわりがあります。MPS-X を接続すると、OSX は自動的に最も高いサンプルレート (384kHz) を選択します。すべての曲をこのレートに変換してから USB 経由で再生します。その結果、パフォーマンスが低下する可能性があります。Audio/MIDI セットアップユーティリティでサンプルレートを手動で選択し、ネイティブのサンプルレートに対応させることができます。しかし、ライブラリに 1 つ以上のサンプルレートの曲が含まれている場合、これは面倒な作業になります。

注意事項

1. 最高のパフォーマンスと完璧なビット再現のために、再生ソフトのボリュームコントロールをすべて 0db (ワイドオープン) にしてください。OS サウンドをすべてオフにして、エフェクトやイコライザーをオフにしてください。ボリュームはアナログ・プリアンプのみでコントロールしてください。
2. MPS-X を別の入力 (PLINK や USB など) に切り替えて USB 経由で再生することは問題ありません。別の入力を選択する前に、コンピューターで再生を停止することをお勧めします。MPS-X のクロック・マネージメントが正しい周波数を USB ポートに供給しない可能性があります。USB ポートが選択されていない場合 コンピュータのソフトウェアに問題があり、誤動作する可能性があります。そのため、USB 入力を聴かないときは、パソコンの再生を停止してください

Windows / Mac との接続

対応フォーマット:	PCM: 384kHz / 24 bits 対応 DSD: ネイティブ 11.2MHz / DoP 5.6MHz 対応
プロトコル接続・接続方法:	USB 2.0 / Audio class 2.0, 非同期モード 高機能マスター・クロック搭載
Windows PC 環境:	Windows 7 以降, ASIO 対応音楽ソフト (JRiver 等)
Mac 環境:	OS X (10.6.6 以降)

MPS-X をお持ちのパソコンと接続し音楽データを伝送する際は、あらかじめ専用のドライブソフトをインストールする必要があります。ですが、Mac OSX (10.6.6 以降) をご使用の場合は、すでに PCM 384kHz まで対応しているので、ドライブソフトをインストールは必要ありません。また、Mac では DSD 再生時 DoP 方式を採用しているため、追加ドライバーも必要ありません。Windows をご使用の場合は、ドライバーをインストールする必要があります。

PC ユーザー様への注意：

Windows の操作システムは、リアルタイム・システムを採用しておりません。音楽再生時、リアルタイム処理の実行時間を短縮するために、特殊な処理システムが採用されています。そのためこの処理システムでドロップアウトが発生し、場合によっては非常に短い時間で処理される一方で、少し長い時間がかかることもあります。パソコンによっては、製造時にドライバーとシステムプロセスがあらかじめ設定されているため、このようなドロップアウトが発生します。あるいは、ユーザーがインストールしたソフトウェアがリアルタイム・システムのみでの音楽再生しかできない場合に、同様のドロップアウトが発生します。下記のフリーソフトをご使用いただき、お持ちのパソコンでリアルタイム・システム処理が可能かご確認ください。

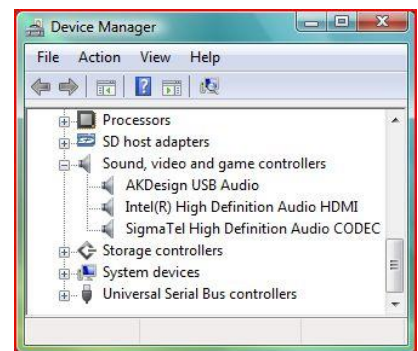
1. <http://www.resplendence.com> にアクセスし、LatencyMon ユーティリティプログラムをダウンロードしてください。上記 Web サイトにはこの他にも、プログラムの説明と技術情報が掲載してあります。
2. LatencyMon を起動してください。10~15 分経過後、お使いのパソコンがドロップアウトなく音楽再生ができる環境にあるかどうか、判定されます。

この LatencyMon のプログラム容量は小さいため外付け装置の必要はなく、フラッシュメモリに転送し持ち運びが可能です。新しいパソコンをご購入の場合は、店頭で上記テストをご確認ください。

ドライバーソフトのインストール・Windows の接続

1. www.playbackdesigns.com へアクセスし、最新の USB ドライバーをダウンロードしてください。
2. インストーラーをダブルクリックし、表示される指示に従ってください。
3. MPS-X を起動し、付属の USB ケーブルを使用し MPD-6 の USB 接続端子と、パソコンを接続してください。
4. MPS-X の USB 入力を選択してください。

USB 入力設定時、設定完了には一定時間が必要となります。問題なくダウンロードが完了すると、



通知が表示されます。Sound Control パネルにある Sound, Video and Game Controllers タブの下に「AKDesign USB Audio」と表示されることを確認し、ドライバーのインストールとデバイスマネージャーの接続が問題なく完了していることを確かめてください。

5. ご使用の音楽プレイヤーを ASIO 設定にしてください。ご使用環境によって、「AKDesign USB ASIO」あるいは単に「ASIO」と表示されます。場合によっては、音楽再生用 ASIO 出力プラグインが必要となります。
6. 音楽再生ソフトの全ボリュームコントロールを 0db (wide open) に設定し、機動する可能性のあるエフェクトやイコライザーの機能を停止してください。ボリュームの変更は、アナログプレアンプから行ってください。

Mac との接続

ドライバーをインストールする必要はありません。DSD ファイル再生する場合は、お使いの音楽再生ソフトが DoP 方式で MPS-X へ出力されていることをご確認してください。

Windows PC 再生

ご使用の PC 内で作動する音楽ソフトで曲の変更を行う場合、USB プロトコルはサンプルレートと自動通信し、MPS-X へデータ伝送します。音楽再生中は、MPD-6 のフロントパネルに常時サンプルレートが表示されます。このシステムでは、音質に悪影響を与える可能性のあるサンプルレート変換やシグナル処理は行わず、ご使用の音楽ファイルのビットレートをそのまま使用し、アナログ出力変換を行っています。

Mac 再生

ネイティブ OSX オペレーションシステムや iTunes はオーディオフィア向けになっておらず、サンプルレート変換しかできません。MPS-X と OSX を接続する場合、最も高いと考えられるサンプルレート (384kHz) が自動選択され、全再生曲をこのサンプルレートに変換した後、USB 経由で再生します。この結果、音質は劣化します。Audio/MIDI Setup utility から再生曲のサンプルレートと同じサンプルレートを手動で選択することができますが、再生したいと思っている音楽ファイルのサンプルレートがそれぞれ違っている場合、これでは手間がかかります。別会社が開発した iTunes 用プラグインが、上記過程を自動的に行い、正しいサンプルレートを選択し、完璧な音質で再生しますので、そちらをご使用いただく方法もあります。

DSD ファイル再生

推奨ドライバーソフトおよび MPS-X ハードウェアは、DSD ファイル 11.2MHz 対応となっています。Windows OS をご使用の場合は、DSD ファイルの読み込み可能な音楽再生ソフトをあらかじめインストールし、USB ドライバーを使用し曲を再生してください。Mac OS をご使用の場合、音楽再生ソフトを DSD 再生時 DoP Standard 方式を選択してください。

【ご注意】

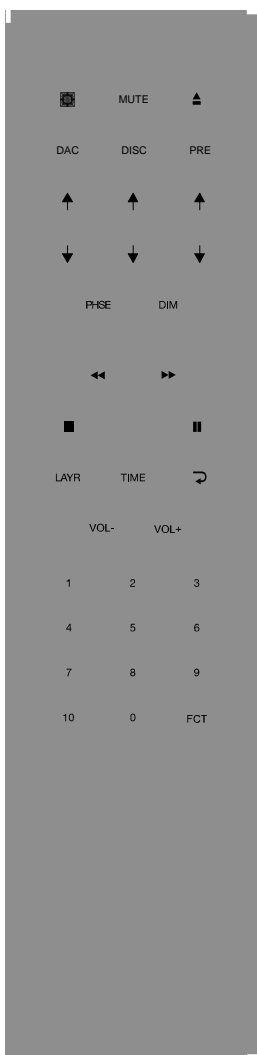
1. 音楽再生ソフトのボリュームコントロールを 0db (wide open) に設定し、機動する可能性のあるエフェクトやイコライザーの機能を停止してください。ボリュームの変更は、アナログプレアンプ

だけで行ってください。

2. USB 入力での音楽再生から、異なる入力方式（ディスク再生、AES 入力または Coax 入力）への再生への切り替えもできますが、入力方式を切り替える際は、一度再生を停止してから入力切替をしてください。正しい入力方式が選択されていない場合、MPS-X のクロック・マネージャから正しい周波数が USB ポートに伝送されず、コンピューターソフトが正常に動作しない可能性があります。ですので、USB 入力から切り替える場合は、その都度コンピューター上から再生を停止してください。

リモコン（別売）

MPS-X にはリモコンは付属していませんが、MPS-X に接続している Playback Designs の Dream シリーまたは Edelweiss シリーズのシステムに付属しているリモコンを使用することができます。



フロントパネルに SETTING MENU が表示されます。DISC ボタンまたは、PRE ボタンを押し、MPS-X の設定をしてください。



通常操作時、DISC（または PRE）ボタンの下にある上下の矢印ボタンを押すと、選択されている入力端子が切り替わります。SETTING MENU 設定



時、この矢印ボタンを押すと、SETTING MENU が切り替わります。

DIM

ディスプレイパネルの文字の明るさが暗くなります。

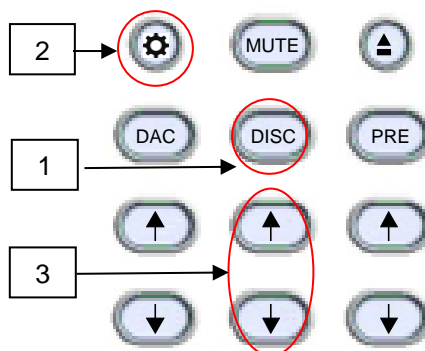
上記以外のボタンはご使用いただけません。

リモコンの電池交換

単4形電池2個をお使いください。六角レンチを使い、リモコンの背面カバーを外してください。+、-の向きを間違えないように交換用電池を入れてください。

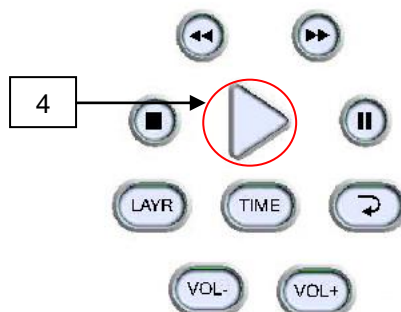
設定メニュー（SETUP MENU）

リモコン操作で、ディスプレイ上に表示されるオプションの切り替えが行えます。まず初めに、リモコン上の DAC ボタン（下図 1）を押し、次に SETTING ボタン（下図 2）を 5 秒以内に押ししてください。ディスプレイ上段の表示が点滅し、setup menu の最初の項目が表示されます。次の項目に進む場合は、矢印ボタン（下図 3）を押ししてください。



メニュー設定を変更する際は、PLAY ボタン（下図 4）を押ししてください。全ての設定が完了したら、SETTING ボタン（上図 2）を再度押ししてください。メニュー設定画面が終了します。

下記項目の設定・確認ができます。



1. デジタル入力（6 入力）：それぞれの入力の電源を個別に OFF にでき、通常の操作をする間は、その機能が働くことはありません。例えば、2 つの入力しか使わない時は、他の 4 つの入力の電源を OFF にできます。リモコンの矢印ボタンで 2 つ入力だけの切り替えができます。
2. お持ちの MPS-X のシリアルナンバーの確認。ユーザーによる変更はできません。
3. ファームウェアのバージョンの確認。
4. OUT LVL：アナログ出力レベルは、可変と固定（5 種類）に変更できます。可変時は、リモコンでリウムコントロールが可能です。設定は variable(可変)/-6dB/-3dB/0dB(標準)/+3dB/+6dB の順で設定できます。
5. PLINK OUT：MPS-X と従来の Playback Designs DAC（例：MPS-5）と接続する場合は、“Classic”フォーマットを選択してください。他の製品をご使用の場合は“Sonoma”フォーマットを選択してください。
6. PLINK IN：従来の Playback Designs source（例：MPS-5）と接続する場合は、“Classic”フォーマットを選択してください。他の製品をご使用の場合は“Sonoma”フォーマットを選択してください。

7. IR LOCK：IR コントロール機能が働いた場合、2つの異なる機器に対し1つのコードが使用されるため、不具合が生じる可能性があります。IR LOCK は MPS-X へ送られる IR コマンドを無効にします。
8. HOUR：使用開始からの累計使用時間を表示します。
 ※この使用時間は、組み立て完了後の動作チェックや Playback Designs 内でのランニングテスト、ナスペックでのチェック時間も含まれています。そのためご購入時にある程度経過していますが正常な値です。ご安心ください。

ファームウェア・アップデート

Playback Design はアルゴリズム、オーディオデータの処理方法を革新しており、新しい機能の追加や、さらに高い音質が実現するたびに、新しいファームウェアをリリースしています。全て audio wave file としてリリースされます。他のオーディオ・ファイルと同様に、MPS-X とお使いのパソコンを USB ケーブルで接続してください。内蔵プロセッサが自動的にファイルを特定し、ファームウェアをアップデートします。この間、自動でボリュームがゼロに設定されるため、音楽の再生はできません。MPD-6 はプロセッサを2つ搭載しており、それぞれがファイルをアップデートする必要があります。インストールされているソフトウェアのバージョンはディスプレイで確認いただけます（Setup Menu をご確認ください）。

ファームウェアのアップデートについて:

重要なファームウェアのアップデートがあった場合、株式会社ナスペックの HP(<http://naspecaudio.com/>)にて、ご案内させていただきます。

アップデートの手順:

1. MPD-6 の電源を入れてください。
2. 付属の USB ケーブルを使ってパソコンと MPS-X を接続してください。リアパネルにある USB AUDIO 入力端子に接続してください。
3. 最新ファームウェアとなる Wave file のダウンロード・インストールを行ってください。Mac OS で iTunes をご使用の場合、こちらのアップデートには対応しておりません。Mac OS で Audirvana をご使用の場合は、アップデートが可能です。Windows OS では、Foobar, Roon をご使用の場合、アップデートが可能です。JRiver は対応しておりません。
4. お使いのプレイソフトまたはプレイヤーでファイルを再生してください。
5. フロントパネルに WRITING FLASH と表示されます。この文字の表示中は、なんの操作もしないでください。システムの変更、パソコンからの入力、リモコン操作、入力の変更、電源を切るなどは、絶対にしないでください。アップデートが完了するには2分ほどかかります。
6. アップデートが完了すると、フロントパネルは通常が表示に戻ります。アップデートが失敗すると、WRITING FAILURE と表示されます。手順の間違いや、アップデート途中でドロップアウトが発生した場合、アップデートは失敗します。下記手順を行ってください。:
 - a. MPD-6 の電源を切らないでください。
 - b. パソコンと MPS-X をつなぐ USB ケーブルを抜いてください。
 - c. MPS-X のリアパネルにある RESET ボタンを押してください。
 - d. USB ケーブルで、パソコンと MPS-X をつないでください。
 - e. 音楽ファイルを再生して、問題なく動作するか確認してください。
 - f. 再生を停止し、手順3から設定し直してください。

7. エラーメッセージがなにも表示されず、通常の画面が表示された場合、アップデートは問題なく完了しております。確認用の音楽を再生している場合は再生を停止し、USB ケーブルを抜いてください。
8. MPS-X の電源を切ってください。
9. MPS-X の電源を入れ、setup menu からソフトウェアのバージョンを確認してください。動作に問題がないことを確認してください。

SPECIFICATIONS

デジタル入力	S/P DIF COAXIAL	× 1 系統
	S/P DIF TosLink	× 1 系統
	AES/EBU XLR	× 1 系統
	PLINK	× 1 系統
	USB AUDIO(B-Type)	× 1 系統
アナログ出力	RCA (アンバランス) アナログ出力	× 1 系統
	XLR (バランス) アナログ出力	× 1 系統
アナログ出力レベル @1kHz full level	-6dB : 1.7V rms / -3dB : 2.4V rms 0dB : 3.4V rms / +3dB : 4.8V rms +6dB : 6.8V rms / Variable : 14.3V rms Max	
デジタル出力	PLINK	× 1 系統
システムコントロール	RESET ボタン	
消費電力	100 W (最大)	
サイズ (W×D×H)	440 x 430 x 110 mm	
重量	9.0 kg	

【ご注意】 本機は、2018年8月1日現在の Windows/Mac OS に対応しています。

それ以降の OS アップデートにつきましては、製品を認識できない等のトラブルが発生する可能性があります。アップデートを行う際は、必ずお買い上げいただいた販売店または株式会社ナスペックまでお問い合わせください。

また、確認前にアップデートを行った際の問題につきましては、大変恐縮ではございますが、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

ストリーマー入力操作

Stream-X2 は MPS-X インターフェースの第 2 世代モジュールです。Tidal、Qobuz、Deezer、vTuner などのサービスからの直接ストリーミングを提供します。また、ネットワーク・ストレージ(NAS) (NAS)や USB フラッシュスティック(HDD はサポートされていません)からもストリーミングできます。DLNA レンダラーおよびサーバーであり、Roon ネットワークプロトコルもサポートしています。

対応フォーマット

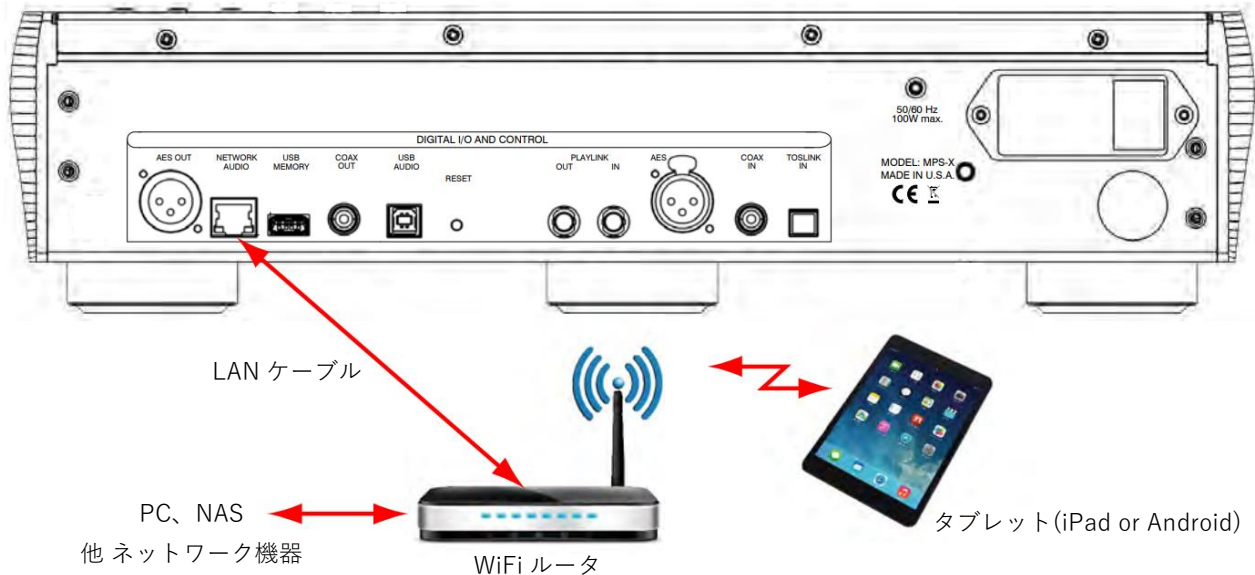
WAVE、WMA、FLAC、AAC、AIFF、Apple Lossless の 384kHz までの PCM および MP3 DSF および DFF ファイル・フォーマットでは、最大 11.2MHz の DSD

(注：すべての DLNA サーバーが DSD ファイルをサポートしているわけではありません。NAS または DLNA サーバーによっては、DSD ファイルが正しく再生されない場合があります。)

対応ネットワークプロトコル DLNA、UPnP、Roon

対応ストリーミング・サービス Tidal、Qobuz、Deezer、vTuner

MPS-X をネットワークに接続する



Stream-X2 接続例

USB MEMORY Stream-X2 が再生できる音楽ファイルの入ったフラッシュ・スティック (HDD はサポートされていません) を接続することができ、Stream-X2 で再生できます。

タブレットの準備と Stream-x2 への接続

Stream-X2 のコントロールには iPad または Android タブレットが使用します。タブレットを使用するには、サードパーティーベンダー（ConversDigital）からアプリをダウンロードしてインストールする必要があります。Stream-X2 は DLNA プロトコルを使用しているため、ほとんどの DLNA コントローラーが Stream-X2 と接続できます。しかし、私たちはこのサードパーティーベンダーと協力して、DLNA ではサポートされていない機能も盛り込みました。ConversDigital のサードパーティアプリを使用することを強くお勧めします。以下のアプリがあります。

1. mconnect Control HD: この無料アプリは横向きでのみ使用できます。iPhone には対応していません。

このアプリは、Stream-X2 が提供する全ての機能を提供し、最も重要な機能が 1 ページでアクセスできる最も包括的なユーザーインターフェースを提供します。

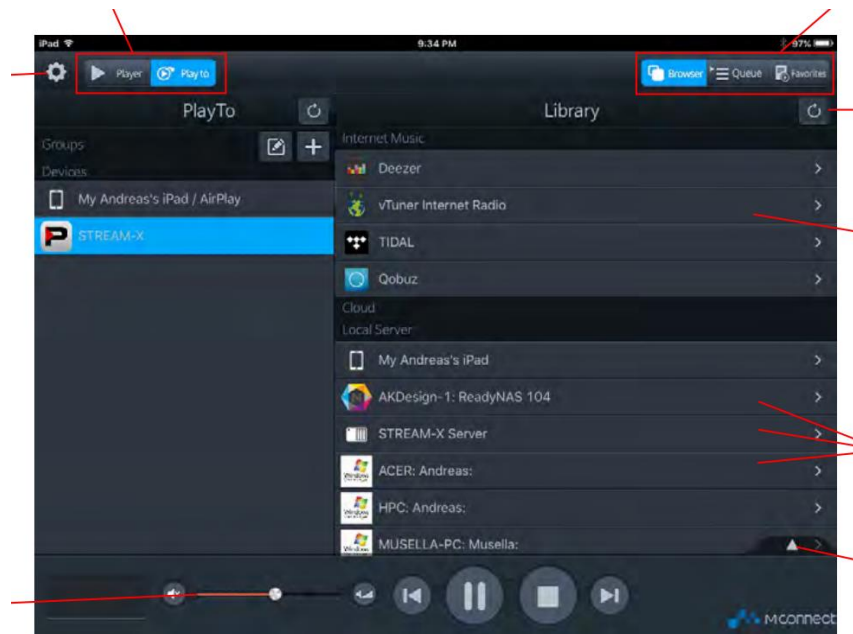
標準の DLNA プロトコルではサポートされていない以下のような機能も組み込まれています。ファームウェアのアップデートやすべてのストリーミングサービスに対応する機能一式。

2. mconnect Control: この無料アプリは、機能的には mconnect Control HD と同じですが、ポートレートモードでのみ動作し、iPhone や Android スマートフォンにも対応しています。レイヤー化されたユーザーインターフェースで、様々な機能が別々のページに表示されます。このアプリには、標準 DLNA プロトコルではサポートされていない以下のような機能も組み込まれています。ファームウェア・アップデートや、すべてのストリーミング・サービスに対応した機能一式などです。

3. mconnect Player: Lite バージョンもあります。これらは汎用の DLNA アプリです。したがって、無料ではありません。当社の追加機能には対応しておらず、限られたストリーミングサービスにのみ対応しています。これらのアプリは Stream-X2 で問題なく動作しますが、mconnect Control アプリのいずれかを使用することを強くお勧めします。

以下の手順に従ってください：

1. タブレットまたはスマートフォンをインターネットに接続します。
2. App Store (iPad) または Play Store (Android) を起動し、"mconnect Control"を検索します。
3. mconnect Control" または "mconnect Control HD" をインストールします。
4. タブレットが Stream-X2 と同じネットワークに接続されていることを確認します。
5. MPS-X の電源を入れます (STREAM-X2 入力を選択します)。電源を入れ直すと 起動に数秒かかることがあります。フロントパネルに有効なサンプルレートが表示されるまでお待ちください。



Playback Designs は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要な購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。

詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。


修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **Playback Designs 日本輸入総代理店 株式会社ナスペック**まで

NASPEC
CORPORATION

株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5
HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510
FAX : 058-268-7118
 : 0120-932-455
E-mail : info@naspecaudio.com

2024.4.17 (Ver 1.00)